

Livio AI / Livio

初回フィッティング手順



適用器種 Livio AI : RIC312, micro RIC312, BTE13
Livio : RIC312, micro RIC312, BTE13

接続開始

- 1 Apple / Android 端末の Bluetooth をオフにします。
- 2 **Inspire X 2019.0 以降** を立ち上げ、補聴器に電池を入れます。
- 3 接続開始画面で「**補聴器と接続**」を選び「**プログラム装置表示**」をクリックします。2.4GHzワイヤレスプログラマーを選択して「**OK**」をクリックします。
注 : 無線プログラミングの操作可能な範囲は約10mです。補聴器が検出されない場合は、補聴器の電源を一旦切って入れ直してからリフレッシュ (再読み込み) をクリックしてください。
- 4 接続する補聴器 (耳側) の横にある **チェックボックス** を有効にします。
- 5 新しいフィッティングセッションの開始、または現在の補聴器設定を基にして調整を行う際には、「**補聴器の読み込み**」を選択します。過去のフィッティングセッションのデータを呼び出すには「**履歴の読み出し**」を選択し、「**開始**」をクリックします。

初期フィットとオートパス

新しい補聴器をプログラミングする時は、初期フィットが自動的に立ち上がります。

- 1 適切な「**音響オプション**」を選択して「**OK**」をクリックします。
- 2 適切な「**補聴器の経験**」を選択します。[図1]
- 3 補聴器をお客様の耳に装着し、全てのノイズ源を減らしてから「**開始**」をクリックしてオートパスを実行します。
注 : お客様が来る前に補聴器のプログラミングを行った場合は、後からお客様の耳に装着した状態でフィードバックキャンセラーを再度行ってください。
- 4 オートパスの結果を画面で確認します。結果がどこかのステップで不完全な場合には「**再度開始**」を選びます。それ以外の場合は「**閉じる**」をクリックして先に進みます。



図 1

スターキージャパン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F
Tel.045-475-9701 Fax.045-475-9706

 **0120-045-190** www.Starkeyjp.com
フリーダイヤル

2019年6月作成



ユーザーコントロール

初回のプログラミングの時には、ユーザーコントロールの画面でデモボックスが表示されます。ユーザーコントロールの設定オプションの「**デモを見る**」を表示させるか、「**再表示しない**」を選択して「**閉じる**」でウィンドウを閉じます。

- 有効にする「**ユーザーコントロール**」を左から選んで、右(赤)または 左(青)の枠の中にドラッグ&ドロップします。ユーザーコントロール機能には、補聴器の音量、メモリー、耳鳴治療音レベル、ミュート、アクセサリーの作動/停止、アクセサリーの音量、手動転倒通知、Thriveアシスタントが含まれます。ユーザーコントロールの操作には、短押し、長押し、ダブルタップがあります。[図2]

注:ダブルタップによるアクセサリーの作動/停止は Livio AI でのみ有効です。

注: 耳鳴治療音レベルがユーザーコントロールで有効に設定されても、耳鳴治療音が本体に設定されていない場合、警告アイコン①が表示されます。

- 「**VC範囲とステップサイズ**」をクリックします。**VCマーク**にカーソルを置いてVC範囲を調整し、「**ステップサイズ**」は2dBと4dBから選択します。

注:Inspireでは、ユーザーコントロール設定で音量調節が有効になっていない時にはVC範囲とステップサイズの調整はできません。



図 2

クイックフィットとファインチューニング

- 左側ナビゲーションバーにある「**クイックフィット**」を選択して**全体的な調整 (こもり感、低周波数、全体ゲイン、高周波数、最大出力)**を行います。[図3]
- メモリーを設定するには、メモリーバーの**メモリードロップダウン**をクリックします。
- 左側ナビゲーションバーにある「**ファインチューニング**」またはクイックフィット画面の下にあるファインチューニングをクリックします。
- 調整のための表示方法を「**テーブル表示**」または「**スライダー表示**」から選びます。
- 「**低域**」、「**中域**」、「**高域**」、「**超高域**」のチャンネルグループを拡張表示させるには+をクリックします。
- 調整したいチャンネルと入力レベルの枠をクリック選択してから「**上下の矢印**」でクリックして調整します。

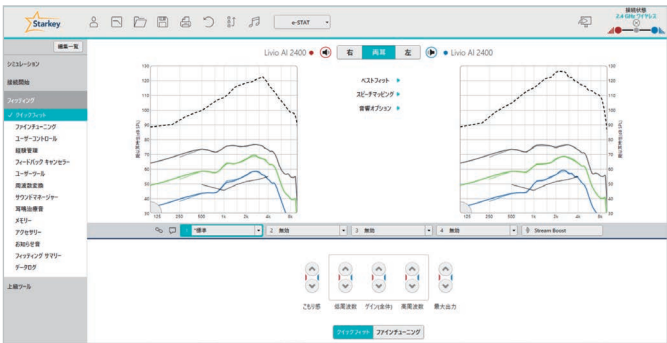


図 3

セルフチェック

- 左側ナビゲーションバーの「**ユーザーツール**」を選択します。
- 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
- 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- 「**基準設定**」をクリックして開始します。
- 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。
- 各補聴器のチェック項目に緑色のチェックマークが入ったら、基準が確立されたことを示します。
追加の詳細情報は「**セルフチェック (QuickTIP)**」を参照してください

追加の調整項目

サウンドマネージャー、耳鳴治療音、周波数変換等の機能については各QuickTIPを参照してください。

メモリーとスピーチお知らせ音

左側ナビゲーションバー、またはすべての調整画面の中央にある「**メモリー**」を選択します。

- ドロップダウン**を選択し「**メモリー**」メニューを拡張し、設定したいメモリーを選びます。
- 音楽メモリー**を設定する時は、「**音楽メモリー (QuickTIP)**」を参照してください。
- メモリーバーは、選択されている環境 (例えば**屋外**) を表示するのがデフォルト設定です。「**吹き出し**」を選択して、画面を設定したスピーチお知らせ音 (例えば屋外メモリーは「ゴルフ」など) に切り替えられます。[図4]



図 4

アクセサリ

左のナビゲーションバーにある「**アクセサリ**」を選択し、補聴器に接続可能なアクセサリの設定を行います。

情報アイコン①をクリックすると、各アクセサリーと補聴器とのペアリング手順が表示されます。ペアリングが完了したら、ストリーミングアクセサリー (TVストリーマー、リモートマイク+、ミニマイク) からの**ストリーミング中の補聴器マイク**を調整します。Thriveリモコンは、**お気に入りボタン**の設定を行ってください。[図5]

注:ストリーミング中の補聴器マイク設定は、iOS端末へのストリーミングにも適用されます。

詳細情報は各アクセサリーのQuickTIPを参照してください。

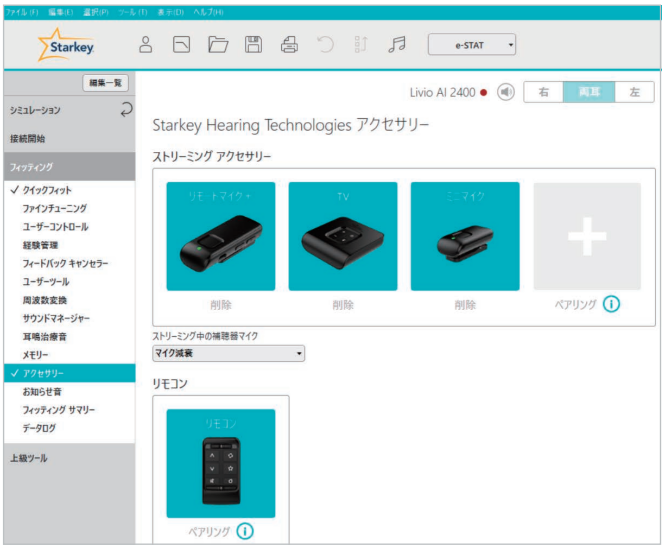


図 5

お知らせ音

左のナビゲーションバーから「**お知らせ音**」を選びます。

- チェックボックス**を選択する、または選択しないことで、お知らせ音の有効/無効が設定できます。
注: 音量のお知らせ音は最大や最小など個別に有効/無効の設定が可能です。
- 「**すべてのお知らせ音を調整**」を選択すると、すべてのトーン (チャイムを含む)、スピーチお知らせ音の音量を5dB刻みでの増減することや、スピーチお知らせ音の言語の変更ができます。
- 「**個別にお知らせ音を調整**」を選択すると、個別に音量の調節や音のタイプを選択することができます。デモの補聴器のマークを選択すると、補聴器からのお知らせ音が再生でき、コンピューターマークを選択するとスピーカー再生することができます。

- 環境メモリーごとのスピーチお知らせ音を設定するには、「**メモリー/ホーム**」を選択します。メモリーが有効になると、デフォルトのお知らせ音は選択された環境に一致します（たとえば、屋外メモリーに切り替えると、お客様には「屋外」と聞こえます）。

スピーチお知らせ音を変更するには、「**音源**」の下のドロップダウンをクリックします（たとえば、屋外メモリーに切り替えると、お客様には「ゴルフ」と聞こえるようになります）。

〔図6〕

注: カスタムメモリーやストリームブーストのお知らせ音を無効にすることもできます。



図 6

フィッティングサマリー

左側のナビゲーションバーにある「**フィッティングサマリー**」を選択します。〔図7〕

「**詳細**」をクリックすると、各機能の調整画面に誘導され必要に応じて簡単に調整することができます

ステータスの下にある「**リモートプログラミング**」をクリックすると、遠隔調整機能が有効になります。リモートプログラミングの横にある**チェックボックス**をクリックしてください。次にお客様（装用者）と一緒に開示に関する注意事項（リモートプログラミングに関するユーザー同意書）を確認した後に、「**承諾**」をクリックします。次に、コード生成アイコンをクリックして、お客様がThriveアプリから遠隔調整依頼できるようにするための、お客様固有の暗証コードを生成します。

〔図8〕

ステータスの下にある「**自動転倒通知**」を選択して転倒検知感度の変更や、この機能が推奨されるお客様かどうか確認することができます。転倒通知の設定と使用方法に関する詳細は、「**転倒検出通知 (QuickTIP)**」を参照してください。自動転倒通知は Livio AI 補聴器でのみ利用可能です。

〔図9〕

「**印刷**」を選択すると、フィッティングレポート、データログレポート、または設定された音量調節、メモリー、スピーチお知らせ音などを記載したお客様にお渡しできるデバイスガイドが作成されます。デバイスガイドは、印刷言語で多言語から選択でき翻訳を出力することができます。

メモリー	増強 x10dB	音源	リストラップ	音源	Stream Boost
標準設定	有効	標準	標準	標準	標準
屋外	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
屋内	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
ゴルフ	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
スイミング	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
スパ	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
ジム	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
美術館	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
図書館	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
オフィス	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
ホーム	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
マスター	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
ワーカー	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準
その他	有効	アンプアップ	標準	アンプアップ	標準

図 7



図 8



図 9

Livio AI / Livio 充電式補聴器 初回フィッティング手順



初回設定 / 充電

- Livio AI および Livio 充電式補聴器は、スターキーの2.4GHzまたはNOAHLinkワイヤレスプログラマーを介した無線通信でのみプログラミングすることができます。補聴器は初回フィッティングを完了するには十分な充電量で出荷されますが、終日使用するには十分ではありません。
- 初回フィッティングの2時間半前にチャージャーケースに補聴器を入れて、補聴器をお客様の使用に十分な充電量を確保するようにしてください。

注: 補聴器の充電量が低下していると、データの読み込み時にバッテリーの警告が表示されます。表示された場合、フィッティングセッションは続行できますが、性能更新（利用可能な場合）は実行できません。チャージャーケースで15分程度の充電を行うと、性能更新を実行することができます。

接続開始

- Apple / Android 端末の Bluetooth をオフにします。
- Inspire X 2019.0 以降** を立ち上げ、補聴器に電池を入れます。
- 接続開始画面で「**補聴器と接続**」を選び「**プログラム装置表示**」をクリックします。2.4GHzワイヤレスプログラマーを選択して、「**OK**」をクリックします。
- 接続する補聴器（耳側）の横にある**チェックボックス**を有効にします。
- 新しいフィッティングセッションの開始、または現在の補聴器設定を基にして調整を行う際には、「**補聴器の読み込み**」を選択します。過去のフィッティングセッションのデータを呼び出すには「**履歴の読み出し**」を選択し、「**開始**」をクリックします。

注: 補聴器が検出されない場合は、補聴器の電源を一旦切って入れ直してからリフレッシュ（再読み込み）をクリックしてください。

注: 無線プログラミングの通信範囲は約10mです。

CROSまたはBICROSで補聴器をフィッティングするにはCROSシステム初回フィッティング手順を参照してください。

初期フィットとオートパス

新しい補聴器をプログラミングする時は、初期フィットが自動的に立ち上がります。

- ① 適切な「**音響オプション**」を選択して「**OK**」をクリックします。
- ② 適切な「**補聴器の経験**」を選択します。[図1]
- ③ 補聴器をお客様の耳に装着し、全てのノイズ源を減らしてから「**開始**」をクリックしてオートパスを実行します。
注: お客様が来る前に補聴器のプログラミングを行った場合は、後からお客様の耳に装着した状態でフィードバックキャンセラーを再度行ってください。
- ④ オートパスの結果を画面で確認します。結果がどこかのステップで不完全な場合には「**再度開始**」を選びます。それ以外の場合は「**閉じる**」をクリックして先に進みます。



図 1

ユーザーコントロール

初回のプログラミングの時には、ユーザーコントロールの画面でデモボックスが表示されます。ユーザーコントロールの設定オプションの「**デモを見る**」を表示させるか、「**再表示しない**」を選択して「**閉じる**」でウィンドウを閉じます。

- ① 有効にする「**ユーザーコントロール**」を左から選んで、右(赤)または 左(青)の枠の中にドラッグ&ドロップします。ユーザーコントロール機能には、補聴器の音量、メモリー、耳鳴治療音レベル、ミュート、アクセサリーの作動/停止、アクセサリーの音量、手動転倒通知、電源オフ、Thriveアシスタントが含まれます。ユーザーコントロールの操作には、短押し、長押し、ダブルタップがあります。[図2]



図 2

- ② Livio AI /Livio 充電式補聴器には電池ドアがありません。使用していないときに電源を切るには、ユーザーコントロールの長押しをすることで「電源オフ」を設定できます。

- ③ Livio AI /Livio 充電式補聴器は、ユーザーコントロールの長押しが「電源オフ」にデフォルト設定された状態で出荷されます。

注: 電源オフには「両耳間」機能がありません。

注: ダブルタップ、手動転倒通知、Thriveアシスタントは Livio AI だけの機能です。

注: 耳鳴治療音レベルがユーザーコントロールで有効に設定されても、耳鳴治療音が本体に設定されていない場合、警告アイコン①が表示されます。

クイックフィットとファインチューニング

- ① 左側ナビゲーションバーにある「**クイックフィット**」を選択して**全体的な調整（こもり感、低周波数、全体ゲイン、高周波数、最大出力）**を行います。[図3]
- ② メモリーを設定するには、メモリーバーの**メモリードロップダウン**をクリックします。
- ③ 左側ナビゲーションバーにある「**ファインチューニング**」またはクイックフィット画面の下にあるファインチューニングをクリックします。
- ④ 調整のための表示方法を「**テーブル表示**」または「**スライダー表示**」から選びます。
- ⑤ 「**低域**」、「**中域**」、「**高域**」、「**超高域**」のチャンネルグループを拡張表示させるには+をクリックします。
- ⑥ 調整したいチャンネルと入力レベルの枠をクリック選択してから「**上下の矢印**」でクリックして調整します。

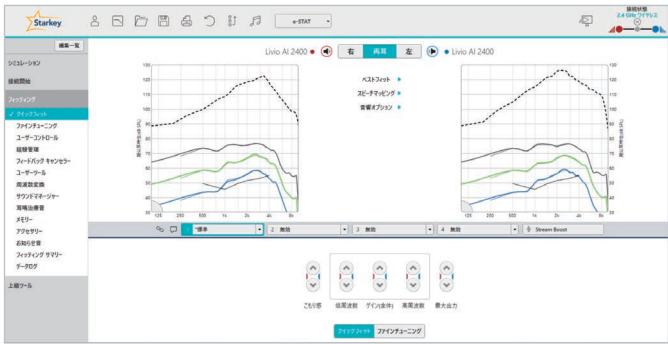


図 3

セルフチェック

- ① 左側ナビゲーションバーの「**ユーザーツール**」を選択します。
- ② 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
- ③ 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- ④ 「**基準設定**」をクリックして開始します。
- ⑤ 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。
- ⑥ 各補聴器のチェック項目に緑色のチェックマークが入ったら、基準が確立されたことを示します。
[追加の詳細情報は「セルフチェック \(QuickTIP\)」を参照してください](#)

追加の調整項目

サウンドマネージャー、耳鳴治療音、周波数変換等の機能については各QuickTIPを参照してください。

メモリーとスピーチお知らせ音

左側ナビゲーションバー、またはすべての調整画面の中央にある「**メモリー**」を選択します。

- ① **ドロップダウン**を選択し「**メモリー**」メニューを拡張し、設定したいメモリーを選びます。

- ② **音楽メモリー**を設定する時は、「**音楽メモリー (Quick-TIP)**」を参照してください。

- ③ メモリーバーは、選択されている環境（例えば**屋外**）を表示するのがデフォルト設定です。「**吹き出し**」を選択して、画面を設定したスピーチお知らせ音（例えば屋外メモリーは「ゴルフ」など）に切り替えられます。[図4]



図 4

アクセサリー

左のナビゲーションバーにある「**アクセサリー**」を選択し、補聴器に接続可能なアクセサリーの設定を行います。

情報アイコン①をクリックすると、各アクセサリーと補聴器とのペアリング手順が表示されます。ペアリングが完了したら、ストリーミングアクセサリー（TVストリーマー、リモートマイク+、ミニマイク）からの**ストリーミング中の補聴器マイク**を調整します。Thriveリモコンは、**お気に入りボタン**の設定を行ってください。[図5]

注: ストリーミング中の補聴器マイク設定は、iOS 端末へのストリーミングにも適用されます。

詳細情報は各アクセサリーのQuickTIPを参照してください。

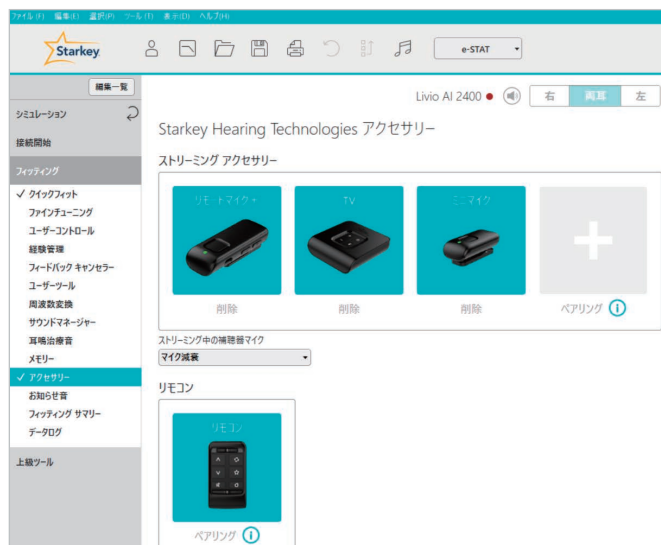


图 5

お知らせ音

左のナビゲーションバーから「お知らせ音」を選びます。

- 1 チェックボックス**を選択する、または選択しないことで、お知らせ音の有効／無効が設定できます。

注: 音量のお知らせ音は最大や最小など個別に有効／無効の設定が可能です。

- 2 「**すべてのお知らせ音を調整**」を選択すると、すべてのトーン（チャイムを含む）、スピーチお知らせ音、の音量を5dB刻みで増減することや、スピーチお知らせ音の言語の変更ができます。

- 3 「個別にお知らせ音を調整」を選択すると、個別に音量の調節や音のタイプを選択することができます。デモの補聴器のマークを選択すると、補聴器からのお知らせ音が再生でき、コンピューターマークを選択するとスピーカー再生することができます。

- 4 「電源オン」と「電源オフ」では同じチャイム音でも鳴り方が異なります。デモの補聴器のマークを選択すると、補聴器からのお知らせ音が再生でき、コンピューターマークを選択するとスピーカー再生することができます。

- 5 環境メモリーごとのスピーチお知らせ音を設定するには「メモリー/ホーム」を選択します。メモリーが有効になると、デフォルトのお知らせ音は選択された環境に一致します(たとえば、屋外メモリーに切り替えると、お客様には「屋外」と聞こえます)。

スピーチお知らせ音を変更するには、「**音源**」の下のドロップ
ダウンをクリックします（たとえば、屋外メモリーに切り替え
ると、お客様には「ゴルフ」と聞こえるようになります）。

〔図6〕

注: カスタムメモリーやストリームブーストのお知らせ音を無効にすることもできます。



图 6

フィッティングサマリー

左側のナビゲーションバーにある「**フィッティングサマリー**」を選択します。[図7]

「詳細」をクリックすると、各機能の調整画面に誘導され、必要に応じて簡単に調整することができます

ステータスの下にある「**リモートプログラミング**」をクリックすると、遠隔調整機能が有効になります。リモートプログラミングの横にある**チェックボックス**をクリックしてください。次にお客様（装用者）と一緒に開示に関する注意事項（リモートプログラミングに関するユーザー同意書）を確認した後に、「**承諾**」をクリックします。次に、コード生成アイコンをクリックして、お客様がThriveアプリから遠隔調整依頼できるようにするための、お客様固有の暗証コードを生成します。

[図 8]

ステータスの下にある「**自動転倒通知**」を選択して転倒検知感度の変更や、この機能が推奨されるお客様かどうか確認することができます。転倒通知の設定と使用方法に関する詳細は、「**転倒検出通知 (QuickTIP)**」を参照してください。自動転倒通知はLivio AI 補聴器でのみ利用可能です。

[図9]

「印刷」を選択すると、フィッティングレポート、データログレポート、または設定された音量調節、メモリー、スピーチお知らせ音などを記載したお客様にお渡しできるデバイスガイドが作成されます。デバイスガイドは、印刷言語で多言語から選択でき翻訳を出力することができます。



図 7



图 8



图 9

チャージャーケースとミニターボチャージャー

詳しくは「チャージャーケース (QuickTIP)」、または「モニターポチャージャー (QuickTIP)」を参照してください。



CROSシステムの初回フィッティング手順

スターキーのワイヤレスCROS システムは、片側のマイクから音声を取り込み、近距離電磁誘導 (NFMI) 技術を介して反対側の耳にワイヤレス送信するので、装用者はろう側（全く聞くことができない側）から発生する音を聴力が残っている側（聞こえる側）の耳で聞くことができます。CROSシステムは、Livio AI 2400 および Livio 2400、2000、1600クラス の RIC 312、BTE 13、RIC R スタイルで使用できます。

ワイヤレスCROSシステムの構成

送信機（トランスミッター）

- 補聴器では効果が得られない側の耳に装着
- CROSまたはBiCROSとしてマイクを活用

受信機（レシーバー）

- 健聴側または難聴だが聞こえる側の耳に装着
- BiCROSとしてマイクを活用
- CROS 調整された補聴器の調整履歴を開くと、受信機側のみが表示されます。

注：送信機と受信機のスタイルは一致しなければなりません。（例：両側ともRIC 312）

はじめに

受信機と送信機は、初回のパソコン調整時に左右のペアにして一緒にプログラムを行う必要があります。受信機は、最初の取り付け後に送信機を使用してもしなくてもプログラムできます。送信機が別途注文された場合、補聴器の調整者は Inspire X で接続をして送信機と受信機をペアにする必要があります。フィッティング中でも、送信機からのストリーミングは可能です。

手順：

- 1 **Inspire X 2019.0以降**を を立ち上げます。
- 2 **開始画面**の「**プログラム装置表示**」から適切なプログラマーを選択し「**OK**」をクリックします。
- 3 補聴器の電池を一旦切って電源を入れ直します。
- 4 接続する補聴器の受信機と送信機の横にある「**チェックボックス**」を有効にします。[図1]

注：まだ送信機とペアリングされていない補聴器は Inspire X では「受信機」と表示されません。また、送信機だけの選択では調整を開始できません。

- 5 新しいフィッティングセッションを開始するために「**補聴器の読み込み**」を選択します。[図1]

注：補聴器として使用された後に、送信機としてペアリングされた受信機はすべての設定の情報を保持しています。



図 1

ペアリング解除

CROS受信機は、従来の補聴器に戻すことができます。しかし、送信機は通常の補聴器に変更することはできず、通常の補聴器を送信機に変更することもできません。CROS システムのペアを解除して受信機を通常の補聴器に戻すには、補聴器を製造元の設定に戻す必要があります。

- 1 **Inspire X 2019.0以降**を を立ち上げます。
- 2 **開始画面**の「**プログラム装置表示**」から適切なプログラマーを選択し「**OK**」をクリックします。
- 3 接続する補聴器の電源をオフにして、**受信機のみ**電源をオンにし、横にある「**チェックボックス**」をオンにします。
- 4 メニューバーから「**ツール**」をクリックします。
- 5 「**設定の消去/補聴器のリセット**」を選択します。
- 6 ダイアログボックスが表示されたら「**開始**」を選択します。[図2]
注：これにより、すべてのメモリ固有のCROS/BiCROS 情報を含む、すべてのデータと設定が消去されます。
- 7 処理が完了したら、「**OK**」をクリックします。[図3]



図 2

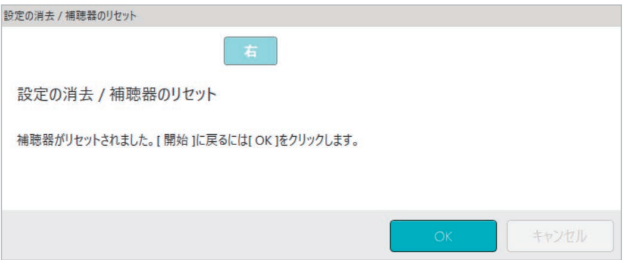


図 3

初期フィットとオートパス

新しい補聴器をプログラミングする時は、初期フィットが自動的に立ち上がります。

- 1 適切な「**音響オプション**」を選択して「**OK**」をクリックします。
- 2 適切な「**補聴器の経験**」を選択します。[図4]
- 3 CROSシステムをお客様の耳に装着し、すべてのノイズ源を減らしてから「**開始**」をクリックしてオートパスを実行します。
注：お客様が来る前に補聴のプログラミングを行った場合は、後からお客様の耳に装着した状態でフィードバックキャンセラーを再度行ってください。
- 4 オートパスの結果を画面で確認します。結果がどこかのステップで不完全な場合には「**再度開始**」を選びます。それ以外の場合は「**閉じる**」をクリックして先に進みます。



図 4



ユーザーコントロール

初回プログラミング時にユーザーコントロール画面でデモボックスが表示されます。ユーザーコントロール設定オプションの「デモを見る」を表示するか「閉じる」を選択します。有効にするユーザーコントロールを左からドラッグして、右側の目的の操作項目にドロップします。ダブルタップジェスチャーは、Livio AI CROSシステムで利用できます。ダブルタップは受信機側でのみ機能します。[図5]

バランスコントロール

バランスコントロールはBiCROSフィッティングで選択できます。両耳間が有効になっているか無効になっているかで、ミュートの動作が異なります。BiCROSバランスコントロールは、受信機に対して、送信機から来る音のレベルを調整します。この変更は補聴器の機能の設定に影響を与えません。バランスコントロールを使用するには、少なくとも1つのBiCROSメモリーが必要となります。

両耳間が有効の場合のミュート

ミュートの両耳間通信はデフォルトで有効になっています。1つのユーザーコントロールで受信機と送信機の両方ミュートになります。

両耳間が無効の場合のミュート

BiCROSメモリーで送信機をミュートにすると、音声は受信機のマイクからのみ出力されます。BiCROSメモリーで受信機をミュートにすると、送信機が有効であっても音声は出力されません。



図 5

クイックフィットとファインチューニング

- 1 左側ナビゲーションバーにある「クイックフィット」を選択して**全体的な調整（こもり感、低周波数、全体ゲイン、高周波数、最大出力）**を行います。[図6]
- 2 メモリーを設定するには、メモリーバーの**メモリードロップダウン**をクリックします。
- 3 左側ナビゲーションバーにある「ファインチューニング」またはクイックフィット画面の下にあるファインチューニングをクリックします。[図7]
- 4 調整のための表示方法を「**テーブル表示**」または「**スライダー表示**」から選びます。
- 5 「**低域**」、「**中域**」、「**高域**」、「**超高域**」のチャンネルグループを拡張表示させるには+をクリックします。
- 6 調整したいチャンネルと入力レベルの枠をクリック選択してから「**上下の矢印**」でクリックして調整します。

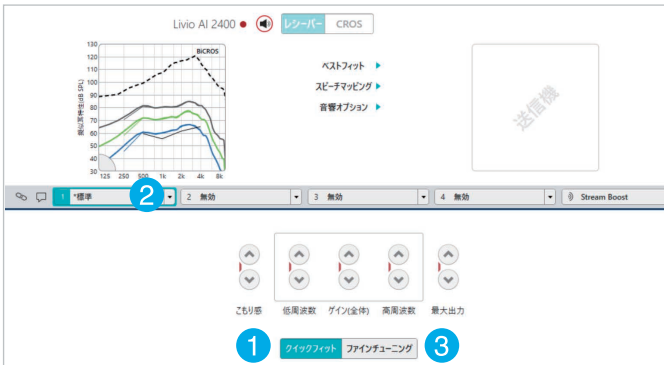


図 6



図 7

セルフチェック

- 1 左側ナビゲーションバーの「**ユーザーツール**」を選択します。
- 2 補聴器の、レシーバーを上向きにして平面に置きます。
- 3 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- 4 「**基準設定**」をクリックして開始します。
- 5 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。
- 6 基準設定が確立すると、各補聴器に緑色のチェックマークが表示されます
- 7 **基準設定**を行なった日付が設定ボタンの下に表示されます。

追加の詳細情報は「セルフチェック (QuickTIP)」を参照してください。

メモリー

CROS と BiCROS モードはメモリーごとに有効にできます。

- 1 左側ナビゲーションバーにある「**メモリー**」を選択するか、すべての調整画面の中央から「メモリー」を選択します。「**ドロップダウン**」を選択して「**メモリー**」メニューを拡張し、次にプログラムする目的のメモリーを選択します。
 - 2 左側ナビゲーションバーにある「CROS/BiCROS」を選択します。
 - 3 互換性のあるメモリーから「**補聴器のみ**」「**CROS**」「**BiCROS**」の設定をします。[図8]
- 注:** CROS/BiCROS送信機のメモリーで、ストリーミング、電話、テレコイル、オートマチックホン、ストリームブーストには互換性がありません。

バランスコントロール

BiCROSバランスコントロールは、受信機側補聴器から入る音に対して送信機から入る音のレベルを調整します。BiCROSバランスコントロール設定はすべてのBiCROSメモリーに適用されます。変更は補聴器の特性波形には影響しません。

- 1 左側ナビゲーションバーにある「**CROS/BiCROS**」を選択します。
 - 2 「**バランスコントロールピン**」を使用して、受信機または送信機に近づけて、デフォルトのバランスを設定します。
- 注:** 片側を1ステップ(1dB)上げると、もう一方は1ステップ(1dB)下がるため、結果として2dBステップで変化します。
送信機と受信機には最大10dBの差ができます。

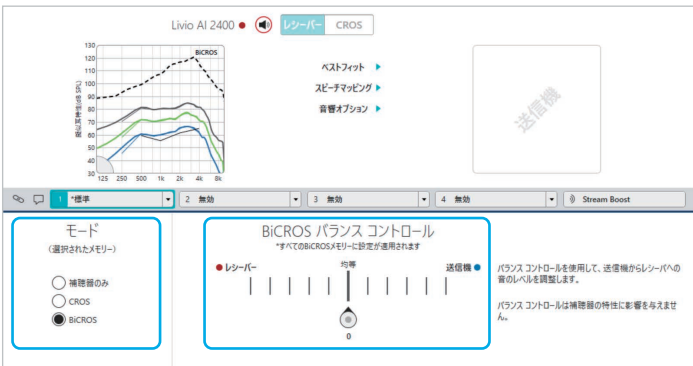


図 8

- 3 バランスコントロールは、ユーザーコントロール(有効の場合)またはThriveアプリ内で装用者が調節できますが、デフォルトの位置は補聴器専門スタッフが設定します。

お知らせ音

左側のナビゲーションバーから「**お知らせ音**」を選びます。〔図9〕

1 「**チェックボックス**」を選択あるいは非選択にして、お知らせ音の有効／無効を設定します。

注：補聴器の音量とバランスのお知らせ音は個別に有効／無効の設定ができます。

2 「**すべてのお知らせ音を調整**」を選択すると、すべてのトーン、スピーチお知らせ音、チャイムの音量の5dB刻みでの増減や、スピーチお知らせ音の言語の変更ができます。

3 「**個別のお知らせ音を調整**」を選択すると、音量や音のタイプを個別に調節することができます。**補聴器アイコン**を選択し、直接に補聴器で再生するか、またはコンピューターのスピーカーで再生してユーザーへのデモに使うことができます。

4 お客様は「**電池交換**」と「**ミュート**」のお知らせ音で、送信機用の特別なトーンが聞こえます。これは、どちら側から聞こえたのか、装用者の理解を助けます。お知らせ音を確認するには、「**受信機**」か「**送信機**」を選択した上で、補聴器マークまたはPCマークをクリックすると再生されます。

CROSストリーム開始

このお知らせ音は「補聴器のみ」のメモリーから「CROS」または「BiCROS」のメモリーに移動したときに再生されます。また、受信機の電源を入れた後に送信機の電源を入れたときにも再生されます。

CROSストリーム停止

このお知らせ音は、送信機の信号が停止されたときに再生されます。これは、送信機の電源が切れている、受信機との通信範囲を超えている、または電池残量が少ないことが原因である可能性があります。

バランス

このお知らせ音は、ユーザーコントロールで「バランス」を設定した場合に再生されます。「**最大（送信機）**」「**最小（受信機）**」「**ホーム（基準）**」「**ステップ毎**」のお知らせ音を有効／無効に設定できます。「最大（送信機）」は、送信機から入る音のバランスが最大に切替わった際に再生されます。「最小（受信機）」は、送信機から入る音のバランスが最小に切替わった際に再生されます。

アクセサリー

CROSシステムは、スターキーの2.4GHzワイヤレスアクセサリーの使用をサポートしています。音声は受信機側のみストリーミングされ、送信機側の信号は利用できなくなります。TVストリーマーではCROS/BiCROS用のモノラルストリーミングに設定されます。

フィッティングサマリー

左側のナビゲーションバーにある「**フィッティングサマリー**」を選択します。〔図10〕

「**詳細**」をクリックすると、各機能の調整画面に誘導され必要に応じて簡単に調整することができます

ステータスの下にある「**リモートプログラミング**」をクリックすると、遠隔調整機能が有効になります。リモートプログラミングの横にある**チェックボックス**をクリックしてください。次にお客様（装用者）と一緒に開示に関する注意事項（リモートプログラミングに関するユーザー同意書）を確認した後に、「**承諾**」をクリックします。次に、コード生成アイコンをクリックして、お客様がThriveアプリから遠隔調整依頼できるようにするための、お客様固有の暗証コードを生成します。

〔図11〕

ステータスの下にある「**自動転倒通知**」を選択して転倒検知感度の変更や、この機能が推奨されるお客様かどうかを確認することができます。転倒通知の設定と使用方法に関する詳細は、「**転倒検出通知 (QuickTIP)**」を参照してください。自動転倒通知はLivio AI 補聴器でのみ利用可能です。

〔図12〕

「**印刷**」を選択すると、フィッティングレポート、データログレポート、または設定された音量調節、メモリー、スピーチお知らせ音などを記載した言語デバイスガイドが作成されます。デバイスガイドは、印刷言語で多言語言語から選択でき翻訳選択できを出力することができます。

Thriveヒアリング・コントロールアプリ

1つ以上のBiCROSメモリーがInspire X でプログラムされている場合、Thriveアプリで左右のバランス調整画面が表示されます。

バランスコントロールの使い方：

- **白色の丸いアイコン**を「**受信機**」に近づけると、受信機側の音が大きくなり、送信機側の音が小さくなります。
- **白色の丸いアイコン**を「**送信機**」に近づけると、送信機側の音が大きくなり、受信機側の音が小さくなります。

送信機をミュート（消音）にするには：

- 「**送信機の消音**」ボタンを選択します。青色ボタンの表示が「送信機の消音解除」に変わります。ミュートを解除するには、「送信機の消音解除」ボタンを選択します。



図 10



図 11



図 12

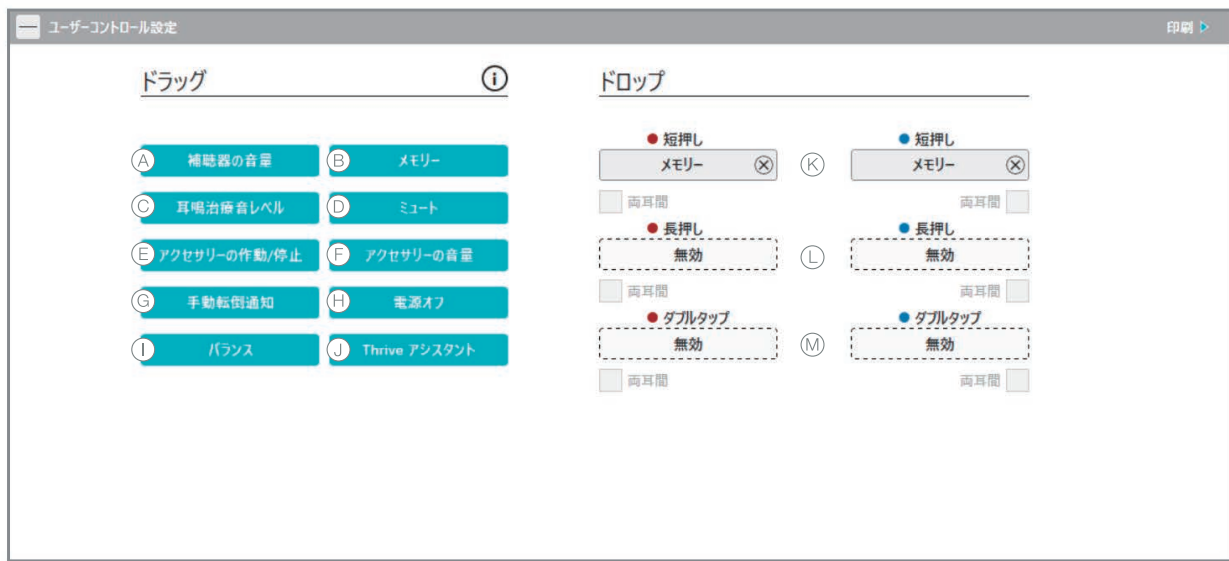


ユーザーコントロール

Inspire を立ち上げて、補聴器を接続します。この接続開始手順については Livio AI/Livio 補聴器各種の「初回フィッティング手順 (QuickTIPS)」を参照してください。最初のフィッティングの際にはユーザーコントロールの設定デモが表示されます。「**デモを見る**」を選択してユーザーコントロールの設定に関するデモを表示させるか、「**再表示しない**」を選択したのちに「**閉じる**」でウィンドウを閉じます。左側のナビゲーションバーを選択して、これ以降のプログラミングにおけるユーザーコントロールの調節を行ってください。

ユーザーコントロール設定

有効にしたいユーザーコントロールを左から選んで、右にある枠の中に「ドラッグ&ドロップ」します。左クリックから左側の青いボタンをドラッグ (マウスの左クリックで捕み) して右側の該当箇所にドロップ (指を離す) します。



ユーザーコントロールの選択肢:

- | | | |
|------------|----------------------------|--|
| Ⓐ 補聴器の音量 | Ⓔ アクセサリーの作動/停止 | Ⓐ 電源オフ (充電式補聴器のみ) |
| Ⓑ メモリー | Ⓕ アクセサリーの音量 | Ⓛ バランス (CROS補聴システムのBICROSのみ) |
| Ⓒ 耳鳴治療音レベル | Ⓖ 手動転倒通知 (Livio AI 2400のみ) | Ⓜ Thriveアシスタント (Livio AI 2400 及び Livio 2400のみ) |
| Ⓓ ミュート | | |

ユーザーコントロール機能の操作方法:

- Ⓚ **短押し**: 補聴器の音量、メモリー、耳鳴治療音レベル、アクセサリーの音量
- Ⓛ **長押し**: 補聴器の音量、メモリー、耳鳴治療音レベル、ミュート、アクセサリーの作動/停止、アクセサリーの音量、電源オフ、手動転倒通知
- Ⓜ **ダブルタップ**: アクセサリーの作動/停止、Thrive アシスタント

注: ダブルタップは Livio AI でのみ有効

注: 耳鳴治療音レベルがユーザーコントロールでは有効に設定され、耳鳴治療音が無効になっている場合は画面に警告アイコンが表示されます。詳細な情報は「耳鳴治療音 (QuickTIPS)」を参照してください。

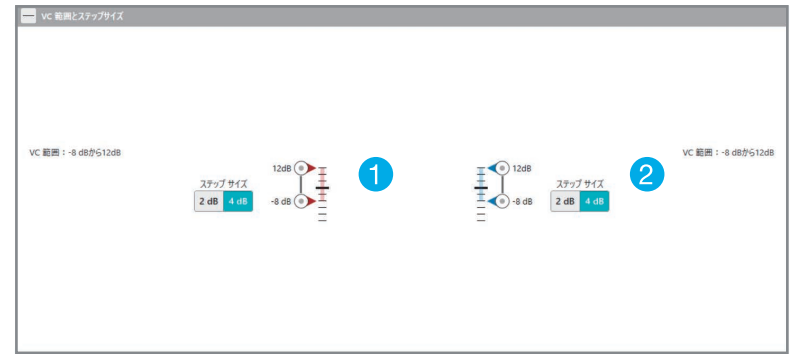


VC範囲とステップサイズ

音量調節が有効な場合、VC範囲とステップサイズが選択できます。

- VCマークにカーソルを置き動かしてVC範囲を調節します。
- ステップサイズを2dBと4dBから選択します。

注: Inspire では、ユーザーコントロール設定で音量調節が有効になっていない時には音量調節範囲とステップサイズの調整はできません。

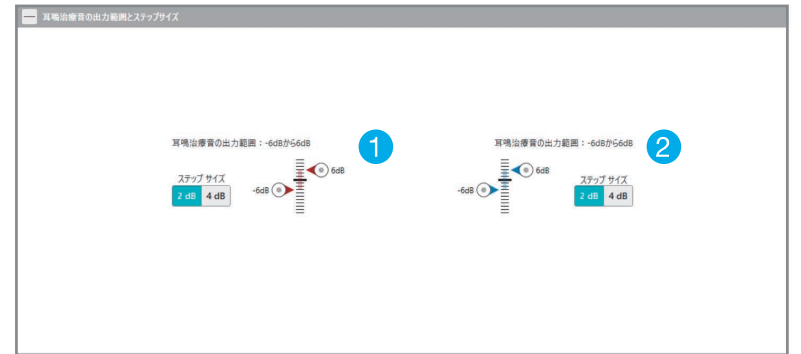


耳鳴治療音の出力範囲とステップサイズ

耳鳴治療音が有効になっている場合は、耳鳴治療音の出力範囲とステップサイズが選択できます。詳細な情報は「耳鳴治療音 (QuickTIPS)」を参照してください。

- VCマークにカーソルを置き動かして出力範囲を調節します。
- ステップサイズを2dBと4dBから選択します。

注: Inspireは、ユーザーコントロールの設定で耳鳴治療音が有効にされていない場合は耳鳴治療音の出力範囲とステップサイズを調節できません。



その他の設定オプション

メモリーを切り替えると、出力レベルがリセットされることがデフォルト設定されています。補聴器の音量と耳鳴治療音レベルはプリセットされたレベルになります。この機能は必要に応じて無効にすることもできます。



デバイスガイド

メニューバーから「印刷」を選択してデバイスガイドを印刷します。デバイスガイドには、接続された補聴器に設定されたユーザーコントロールの情報が記載されます。



サウンドマネージャー

サウンドマネージャーの機能は、補聴器のクラス（ランク）やスタイルによって異なります。上位器種では、補聴器装用者の細かい要望に応える多彩なオプション機能があり、サウンドマネージャー画面から、会話強調機能、環境管理機能、指向性をメモリ毎に調整することができます。

Inspire を立ち上げ、補聴器を接続し、開始ボタンでデータを読み込みます。そして、左側のメニューリストから「サウンドマネージャー」を選択します。

会話強調

ボイス強調シンクロ

動的な背景雑音（スピーチバブル、ざわめき音）の低減に特化して設計された両耳間雑音制御機能で、空間認識の手がかりを温存しながら、狙った会話を選択的に強調することによって明瞭度を改善します。

ボイス強調

騒音環境下での語音聴取の快適性を提供し、聞き取る労力を軽減するように設計された、高速動作型のノイズ管理と語音（言葉、会話）を維持するシステムです。

静寂

低レベルのノイズ環境下（静かな場所）での快適性を提供するために設計された、エクspansionと組み合わせたアルゴリズムです。

会話強調の設定を調節する方法は2通りあります。

- 調整テーブルで設定値を選びます。調整する設定項目は青色に変わります。項目の上下にある矢印を使ってノイズ管理の強度を増加または減少させます。
- 会話強調の下にある「詳細」をクリックします。ノイズ管理を強める時は大きい数値のボタンを、弱める時は小さい数値のボタンを選択してください。



環境管理

衝撃音

衝撃音は、会話に重要な語音や必要な環境音を歪ませることなく、耳障りな衝撃音だけを抑制するように設計された高速の雑音抑制アルゴリズムです。

風切音

マイクロホンの周囲で乱気流が検出された時に機能し、風切音の中で聞き取りの快適性を向上させるための雑音抑制アルゴリズムです。

機械音

掃除機や車のエンジン音やモーター音などの定常的なノイズが検出された時に機能し、聞き取りの快適性を向上させるための雑音抑制アルゴリズムです。

BGM強調

周囲環境に音楽があることを検出すると、音楽聴取が最適になるように補聴器が設定を自動的に調整します。BGM強調は、標準、ストリーミング、ストリームブースト、劇場のメモリーでは、デフォルト設定でオンになりその他のメモリーでも、手動で有効にすることができます（音楽専用メモリーは除く）。

注: 音楽だけを聞く時には音楽メモリーにすることを推奨します。

環境管理の設定を調整する方法は2通りあります。

- 調整テーブルで設定値を選びます。調整する項目をクリックすると青色に変わり、項目の上下にある矢印を使って音楽の音をしっかりと増加または減少させます。また風切音や機械音に対する雑音管理機能を強化または減少させるには、同様に調整します。
- 環境管理の下にある「詳細」をクリックします。風切音と機械音に対する雑音抑制を強める時は大きい数値のボタンを、弱める時は小さい数値のボタンを選択してください。また、BGMの強さを調整するのも同様です。



指向性

推奨する指向性モードは、選択した環境メモリー毎に自動的に決定されます。必要に応じて、指向性モードやその他の設定を調整できる柔軟性もあります。

指向性を調整する方法は2通りあります。

- 1 調整テーブルで設定モードを選択します。調整する項目をクリックすると青色になり、項目の上下の矢印を使ってモードを変更します。

または

- 2 指向性の下にある「詳細」※をクリックします。
指向性モードをアイコンで選択します。
イマージョン指向性または指向性プラスはチェックボックスで有効・無効を選択します。



④ アダプティブ

周波数チャンネル毎にノイズ源を追従抑制しながら、スピーチIDを用いた自動適応型のマルチテアリングにより全方向の会話音を保護します。

⑤ ダイナミック

環境に応じて無指向性と固定指向性を自動的に切り替えます。

⑥ 指向性

固定指向性；単一指向性の特性パターン（ハイパーカーディオイド）によって、背面方向の音を減衰させて前方からの音を大きく増幅します。

⑦ 無指向性

固定レスポンス；全方向からの音を同じように増幅します。

⑧ イマージョン指向性

高周波数指向性フィルターで擬似的な耳介効果を再現します。
全てのモードで「オフ」がデフォルトです。
チェックボックスで有効・無効を選択します。

⑨ 指向性プラス

補聴器が指向性モードの時、連動するボイス強調の効きをアップさせます。
全てのモードで「オフ」がデフォルトです。
チェックボックスで有効・無効を選択します。

⑩ スwitching

指向性の切り替わり具合を変更できます。
遅く／標準／早くから選択できますが、デフォルト設定を推奨します。
全てのモードで「標準」がデフォルトです。

セルフチェック

セルフチェックでは、補聴器のマイクロホン、レシーバー、内部機器の最適性を確認するための診断テストを実行します。セルフチェックは、補聴器の調整者はInspire上で、装用者はThrive（スライブ）ヒアリング・コントロールアプリ上で開始することができます。

基準設定の確立

セルフチェックを使用する前に、Inspireで基準設定を確立する必要があります。

- 1 左側ナビゲーションバーにある「ユーザーツール」を選択します。[図1]
- 2 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
- 3 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- 4 「基準設定」をクリックして開始します。[図1]
- 5 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。
- 6 各補聴器に緑色のチェックマーク表示が付いたら、基準設定が確立されたことを示します。[図2]



図 1



図 2

Inspireでセルフチェックを開始

- 1 左側ナビゲーションバーにある「ユーザーツール」を選択します。
- 2 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
- 3 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- 4 「テスト開始」をクリックして開始します。
- 5 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。